

成果指標設定調書

【成果指標の設定】

成果指標設定年度 令和2 年度

市町村名	吉川市			
提案事業名	希少植物を活用した環境保全啓発事業			
事業期間	令和2 年度	～	令和2 年度	
事業の必要性、目的	本市市民意識調査の結果で、住み心地を良いと感じる理由として「自然環境の多さ」が一番挙げられている。吉川市の魅力を高めるため、また自然環境を維持・継続するため、市に生息する希少植物「キタミソウ」を活用し、市民の環境保全意識の向上を啓発する。			
成果指標	(成果を検証する指標) 自然観察会参加者アンケート「環境保全に対する意識が向上した」と答えた人数			
	(成果検証の具体的な方法) 自然観察会に参加した参加者にアンケートを実施し、「環境保全に対する意識が向上した」と回答した割合により成果を検証する。			
	(上記の指標を設定した理由) 市の魅力である自然環境を維持・継続することを目的とした事業であるため、参加者の意識が向上することが市の自然環境保全の第一歩であると考えたため。			
	(成果の目標値)			
	現状値	-	目標値 (令和3年度観察会 実施時点)	50.0%
	(施設建設等の場合)			
年間利用者数(目標)(人)		稼働率(目標)(%)		
住民への公表方法 及び特記事項	市広報紙及び市ホームページで公表する。			

【成果指標と構成事業の関連性】

令和2年度 構成事業

構成事業名	概要・成果指標との関連性	事業費(千円)
① 吉川美南駅東口周辺地区8号緑地工事 ハードソフト間接補	市民の方が希少植物と触れ合えるビオトープの整備	20,000
② 希少植物等環境保全のための自然観察会 ハードソフト間接補	希少植物「キタミソウ」を中心とした自然観察会の実施	0
③		
④		
⑤		
⑥		
合計		20,000

【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	市民を対象にした自然観察会の実施や市ホームページなどの広報媒体で希少植物のPRを行う。
成果指標の達成見込み	既に自然環境の良さに魅力を感じている市民が多い。その上で自然観察会の実施やビオトープの整備を行うため、魅力を感じる市民を増やすことは可能と考えている。成果指標の達成は見込める。